

『野宿生活者問題と釜ヶ崎』(前編)

毎年1学期期末テストが明けた7/3(火)～7/5(金)の道徳・総合を利用して、地域学習の取り組みとして野宿生活者問題について学習をしました。

初回は導入アンケートということで、地域で生活をしている中で野宿生活者に対してどのように思い、感じているのかを質問しました。

2回目は実際に野宿生活をしておられる方へのインタビューを中心としたDVDを見ました。また、3回目は初回のアンケートをまとめたものを見ながら、同じ学年の仲間がどのような思いを持っているのかを知り、DVDや話を聞く中で、自分自身の思いが当初に比べてどのように変化したのかを感想にまとめました。

日々の生活の中で、ささやかな生きがいと、確かな誇りを持って歩んでおられる野宿生活者の姿は、生徒たちの気持ちに少なからず影響をもたらしたのではないかと思います。

【生徒感想文より抜粋】※()内は「野宿生活者に対して自分にもこんなことができる」という問い合わせに対する回答

- ・エアーガンで人うつたり、放火したり暴行したりする人の気持ちが意味不明だった。いくらライライラしてもおかしいと思った。人としてやばいと思った。
- ・やっぱり差別はいかん。人間協力して生きるのがいいと思う！国がお金や家を用意して働けるようにしてあげたらいいと思う！
- ・人にはいろんなことがあるんやなって思った。段ボール集めて、ちょっとのお金にしかならんとか、もう耐えられへんと思う。足とか病気やのに大変やなって思った。(困っていたら助けたいと思う)
- ・あまり偏見を持たないようにしようと思った。でも、お金があまりないはずなのに、タバコを吸ったり、お酒を飲むのはよくないと思った。
- ・野宿生活者の人が寝ているときにエアガンで撃たれてかわいそうだった。仕事が大変そうだった。
- ・野宿生活者は普通の人と変わらないように話をしたり、歩いたり、一生懸命頑張って生活しているのに、ただ家がないという理由だけで差別するのはひどいと思う。
- ・野宿者的人は襲ってくるという印象はあるけど、そうでもない人がいるという事を知った。(できるだけ話を聞いていく)
- ・野宿者的人は、仕事とかできなくてかわいそうだけど、なんか一部「うーん」ってなる部分があった。履歴書とかよくわからないけど、ほんまに心の底から仕事欲しいんやったら、どんなことでもできるんじゃないかなーって思った。
- ・DVDを見たときに分かったのが、野宿の方々は昔に色々なことがあったんだなってわかりました。仕事がうまくいかなくなったり、でも私たちは今何をしたらいいのかわかりません。

- ・初めは何で仕事しやんのと思って、仕事したらある程度の生活できるのにと思っていたけど、仕事したくても、体のこととか、住所のこととかいろんなことが原因で無理なんやと思った。ホームレスを襲撃する人らはほんまに最低やなと思った。自分もその立場になって考えてみたらどれだけ嫌か考えて行動しろと思った。軽い気持ちで段ボールに火をつけて死んでしまったり、取り返しのつかないことなのに、ほんまにありえへんと思った。
- ・最初から悪いイメージはあまりなかったけど、もちろん襲撃したりするのはいけないと思う。でも「かわいそう」と思うのも何か違う気がする。というのが私が感じた印象です。(友達が悪く言ってたら「それはちがうで」と言う)
- ・実は良い仕事についてた人がホームレスになって驚いた。あと、生活保護とかもらってんのに仕事しやん人かと思ったら、がんばって仕事探してる人でびっくりした。それに、なんか悲しい人ばかりだった。心が痛い。(おにぎりとか、野菜とか体にいいものあげたい。)
- ・自分たちが今、どれだけ幸せかが分かった。
- ・この学習を通して、火をつけたりなど野宿の生活をしている人たちに、ストレスを発散するためだけにしている人がいるのは、今でもやっている人がいることは全然知らなくて何もしていないのにされているのは本当にかわいそうだと思いました。この学習で野宿の生活をしている人たちのことを勉強して全然知らないことばかりで、もっと知っていかなければいけないと思いました。
- ・大変なことを体験している。野宿生活者について、さらに深く知ることができた。
- ・思った以上に生活が苦しそうだった。
- ・普通にかわいそうと思った。インスタントラーメンばっかりで、全然栄養とか取れてないし、やばいと思う。(中略)毎日キツイ仕事しててほんまに大変と思う。でも、がんばってください。(差別をなくす)
- ・野宿者の方も努力をしていて、毎日たくさん歩いて、カンや段ボールを集めている、丸一日歩き回って900円ぐらいしかもらえないのは苦しいと思った。カサでつつかれたり、火をつけられたりしても、がんばっていることがすごいと思った。(野宿者に対して暴力をふるうことはいじめと変わらない。)
- ・野宿者もいろいろ大変やと思うけど、店のシャッターの前とかで寝たりすんのはやめてほしい。(中略)やっぱり、最初の気持ちは変わらなくて怖いという思いは今もある。(雇ってくれる仕事を探してあげる)



【編集後記】

道徳・総合だよりのタイトルを「INNOCENT MIND(イノセント マインド)」と名付けました。

innocentは「潔白な」「無罪の」「純粋な」という意味があります。

また、mindは「精神」「心」「考え・意見」という意味です。

生徒たちの感想などを見て、まとめる作業をする中で「この子はこんな思いを持っていたのか。」など、彼ら彼女らの純粋な気持ちに毎回驚かされています。